

青山学院 中部

所在地／〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25
TEL／03-3407-7463

中部部長／上野 亮

創立／明治初期創立の女子小学校、耕教学舎、美會神
学校が源流。1947年、青山学院中部が開校。
1986年、中高一本化により、青山学院高中部に。

URL／www.jh.aoyama.ed.jp

	1年	2年	3年
男子	130名	124名	127名
女子	128名	126名	127名
クラス数	8組	8組	8組

中高総生徒数／1945名 併設小から 約47%



〈交通アクセス〉

東京メトロ銀座線ほか「表参道」駅より徒歩7分
JR、東京メトロほか「渋谷」駅より徒歩13分

学びの視野を広げる「次世代型教科センター方式」を実施

キリスト教信仰に基づき、愛と奉仕の精神を養い、社会的責任を進んで果たす人間の育成が教育目標です。そのため、さまざまな宗教行事や毎日の礼拝、全学年で週1回の聖書の時間などを設けています。新たに完成した本校舎では、各教科がメディアスペースを充実させたゾーンを持っています。知識の詰め込みに終わらず、幅広い視野を持った人間としての素養を身につける学びをめざしています。中3の選択授業は、従来の科目にとらわれないユニークな講座で教養を高め、興味・関心の幅を豊かに広げ育てていきます。

スクールライフ

●教育内容

基礎学力の徹底と、みずから考える力を身につけることを重視し、1クラス32名、1学年8クラスの少人数クラス制を採用。外国人講師による英会話、英語オンライン多読システム、数学の習熟度別クラス制と併せて、基礎学力の充実とともに、バランスの取れた人間形成をめざすカリキュラム編成となっています。中3では、20前後の選択授業を開講し、各人の希望進路や関心に応じて週2時間履修します。また、オーストラリア、イギリス、フィリピン、韓国、中国の中学校との交流プログラムを実施。それぞれの文化や歴史、考え方や生活習慣を学びます。2021年より中1から1人1台のタブレットPCを導入し、学びを深化させています。

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	5	4	4	3	4
2年	6	4	4	4	4
3年	6	4	4	4	3
合計	17	12	12	11	11

◎1日当たりの授業コマ数：45分×6時限

※木曜日は45分×7時限

◎登校時間：8時10分

マネーガイド

■2025年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	320,000円	0円	0円	0円	320,000円
初年度総額	320,000円	570,000円	465,000円	約304,000円	約1,659,000円

●部活動

多くの部・同好会が活発に活動しています。

◎文化系／国際交流、文芸、地理歴史研究、オルガン、囲碁将棋、音楽、マイコン、放送、アート、ハンドベル、創作漫画、箏曲、吹奏楽、茶道、家庭、科学など

◎体育系／ラクロス、スキー、陸上、ラグビー、野球、ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、チアダンス、テニス、卓球、水泳、サッカー、剣道など

●行事

クラス対抗リレーや男子の騎馬戦、女子のマスゲームなどで盛り上がる運動会、クラス参加の催し物、クラブの発表、自由参加のバンドなど多数のプログラムがある中部部祭(文化祭)のほか、歌舞伎教室、音楽鑑賞会、スキー学校など多彩な行事があります。イースター礼拝やクリスマスツリー点火祭、クリスマス礼拝といった宗教行事も大切にしています。

●修学旅行・研修旅行

中2の裏磐梯キャンプ、中3の沖縄旅行のほか、春休みに隔年でフィリピンと韓国の訪問プログラムが、2023年より中国訪問プログラムが加わり、夏休みにオーストラリア・ホームステイおよびイギリス語学研修を実施します。チャイルド・ファンド・ジャパンの協力の下、ボランティア活動でフィリピンの学校を訪問し、交流を深めます。

◎寄付金：1口10万円、2口以上(任意)

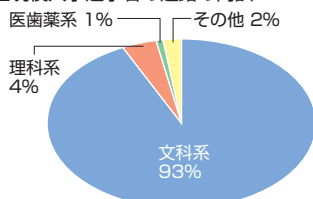
◎授業料：3期分納

◎奨学金・特待生制度：経済的理由により就学困難と判断される者に、学費等の支援給付制度と、友情献金のなかから授業料分を免除する制度がある

進学指導の概要

高入生とは混合クラス編成で、週5日制の1日6時限・50分授業。「教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力を持ち、自分の人生の進路を切り開く力を持つ人間の育成に努める」ことを目標に、広い視野に立ったカリキュ

■現役大学進学者の進路の内訳



★他大学への主な進学状況(2025年度)
東京大1名、東京理科大1名、早稲田大2名、一橋大1名、慶應義塾大7名、立教大1名、上智大1名など

ラムを組んでいます。青山学院大への内部進学はもちろん、多様な進路に対応する力を養うため、高3では全体の半分に当たる週15時間が選択科目に。主要5科目を中心にフランス語、ドイツ語、被服、食物、聖書など、多彩な科目を設置しており、各人の進路や関心に応じて深い学習が可能です。また、総合学習の一環として、進路指導に役立てるための「学問入門講座」を開講。

■併設大学(青山学院大学)への推薦状況

	文学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	経営学部	理工学部	社会学部	教育人間科学部	地球社会共生学部	人間学部	コミュニケーション
23年	34名	47名	31名	85名	60名	47名	14名	5名	31名	1名	1名	1名
24年	38名	34名	24名	85名	60名	47名	24名	5名	25名	3名	1名	1名
25年	35名	52名	22名	85名	60名	47名	10名	1名	28名	1名	1名	1名

★指定校推薦枠(2025年度)非公表

さらに「英語の青山」の名にふさわしく、必修の英語は全学年で3段階の習熟度別クラスで学びます。国際交流にも力を入れており、イギリスやイタリアの姉妹校と短期交換留学を行うのも特徴です。卒業生の約85%は青山学院大へ進学。この内部進学は、高等部3年間の学業成績、3年次に行われる学力テストの結果などを総合的に判断して推薦されます。

入試情報

■過去3年間の入試結果

	募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
23年	男子	約140	410	362	1.1
	女子		563	481	0.86
24年	男子	約140	374	329	1.13
	女子		538	459	0.91
25年	男子	約140	568	440	1.09
	女子		620	482	0.88

○配点：算国＝各100点 理社＝各50点
○合格最低点：男子174点 女子188点

26年の募集要項

入試日/2月2日
募集人員/男女約140名
合格発表/ホームページで翌日
手続締切/2月3日
試験科目/国語(50分・100点)、算数(50分・100点)、理科(25分・50点)、社会(25分・50点)
面接/なし
受験料/30,000円

公開行事・説明会予定

【学校説明会】要予約
6月14日(土)
9月20日(土)
10月4日(土)
【中等部祭(文化祭)】入試相談コーナーあり
11月8日(土)、9日(日)
◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOB・OGの声

- 聖書の授業は、先生の日常的な体験などがお話の中心で、内容もとてもわかりやすく、有意義な時間です。英語はほかのクラスとの混合編成になるので、友だちの輪も広がります。
- 行事では、4月に伊豆の天城山荘で行われたオリエンテーションキャンプが印象に残っています。クラス対抗のドッジボールなどがあり、すぐにみんなと仲良くなれました。
- キリスト教の学校なので、週に1時間の聖書の時間があるほか、毎日2時限目が終わると、講堂で礼拝があります。礼拝には最初、戸惑いもありましたが、今では心が落ち着く大切な時間となっています。